

医学研究に関するお知らせおよび 研究協力へのお願い

福井大学医学部附属病院神経科精神科では、福井大学医学系研究倫理審査委員会の承認および医学系部門長の許可を得て、下記の医学研究を実施しています。

この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、未成年の方に研究に参加いただく場合、代諾者(研究対象者の親権者または未成年後見人、父母、兄弟姉妹、祖父母、同居の親族またはそれらの親近者に準ずると考えられる者(未成年を除く)とします)に研究の目的を含む研究の実施についての情報を通知し、研究が実施されることについて、代諾者が拒否できる機会を保障することが必要とされています。

研究への参加を希望されない場合や利用目的の詳細など研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

福井大学医学部附属病院 神経科精神科
承認日:2023年3月28日 Ver.1.3

【研究課題名】

自閉症成人の触覚と社会的ネットワークに関する研究

【研究期間】

医学系部門長承認日～2024年3月31日

【研究の意義・目的】

自閉スペクトラム症(ASD)は、(1)社会的コミュニケーションおよび対人相互反応における持続的な欠陥、および(2)行動・興味・活動の限定された反復的な様式があることに基づいて、診断されます。

しかし、診断基準(1)に属する社会性に関する問題と、診断基準(2)に属する感覚の過敏性および鈍麻の問題に、どのような関係性があるのかについては不明な点が多いです。この問題に対し申請者らは、触覚の非定型性が社会性の発達に悪影響を与えている可能性に着目しています。つまり触れ合いは快感情を引き起こすことで、親類を含む他者との紐帯を強め、社会能力の発達を促す一方で、感覚の非定型性のため他者との接触が不快であるならば、他者

との紐帯を強めることができず、社会性の発達が抑制されている可能性があるのではないかという考え(社会的グルーミング仮説)です。

共同研究者の北田らは、定型発達者を対象とした社会的ネットワーク研究で、他者に対して抱く感情的な絆とその人が触れることを許容する体部位の間に関係性があることを示しました(Suvilehto et al., 2019)。この結果は社会的グルーミング仮説を支持していますが、自閉スペクトラム症で果たして同じような関係性が観察されるかどうかは不明です。もし、自閉スペクトラム者が他者との触れ合いを不快と思うのであれば、接触を許容する体部位と紐帯の間には関係性がない可能性があります。もし、この仮説が支持されれば、触覚の非定型性と社会性の関係性の一端を示し、自閉スペクトラム症を深く理解するための一助となることが期待できます。

【研究の内容】

1. 研究の対象となる方

成人定型発達群・成人自閉スペクトラム症群(各群 100 名)を対象に、医学系部門長承認日～2024年3月31日の間に、本臨床研究の文書同意を受けた方

2. 研究に用いる試料・情報

- ・ 研究対象者背景: 研究対象者 ID、性別、年齢、身長、体重、既往歴、現病歴、利き手
- ・ 実験データ: emBODY は心理実験で多用されるオンライン実験制作サイト(Gorilla.sc)を用いて作成された描画ツールである。emBODY を用いて得た自分が他者に触れられてもよい体部位をペイントしたデータを取得する。
- ・ 質問票: Autism spectrum quotient (AQ), Adolescent/Adult Sensory Profile (AASP)
- ・ 認知検査: Wechsler Adult Intelligence Scale-III または IV

なお、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、個人を識別できる情報は削除し、公表しません。また、取り扱う試料・情報は厳密に管理し、漏洩することはありません。

3. 研究の方法

(1) 試料・情報の取扱い

この研究にご参加いただいた場合、研究参加者の描画ツールや質問紙調査の結果などのこの研究に関するデータは、氏名、住所、電話番号など個人を特定できる情報は全て個人と特定できない形式に記号化した番号で福井大学にて管理します。また、この研究で得られた試料や情報は全て個人情報と記号化した番号との対応表を作成し、福井大学で厳重に管理します。

匿名化されたデータは、共同研究施設である神戸大学と早稲田大学に提出されますが、個人情報に関するデータを提出することはありませんので、あなたの個人情報が福井大学外に漏れることは一切ありません。

(2) 試料・情報の保管場所

この研究で得られた情報は福井大学医学部精神医学で厳重に保管されます。匿名化されたデータは、共同研究施設である神戸大学と早稲田大学で保管されます。

(3) 試料・情報の保管期間／廃棄方法

この研究で得られた情報はこの研究に関する論文が発表された後、福井大学にて10年間保管致します。神戸大学と早稲田大学に提供されたデータは、論文発表後に福井大学に返還します。

その後、個人情報が外部に漏れないよう十分に配慮し、紙媒体の情報はシュレッダーにかけ、電子媒体の情報は保管してあるメディアを物理的に破壊し、破棄します。

【利益相反について】

利益相反とは、外部との経済的な利益関係(資金提供など)によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないのではないか(企業に有利な結果しか公表されないのではないか)と第三者から懸念されかねない事態のことをいいます。

この研究は、特定の企業や団体から研究資金や給与・謝金など、特別な便宜を受けていないことを福井大学臨床研究利益相反審査委員会に全て報告し、利益相反状態でないと判定されています。研究を公正に遂行し、あなたに不利益になることや、研究結果を歪めることは一切いたしません。

【研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法】

本研究では、研究計画書及び研究の方法に関する資料に関しては、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り入

手又は閲覧が可能です。その入手・閲覧をご希望される際には下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

【個人情報の開示等に関する手続き】

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

《福井大学における個人情報保護について》

http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/disclosure/privacy/

【研究組織】

1. 研究代表施設および研究統括者

福井大学医学部附属病院 神経科精神科 教授 小坂浩隆

2. 共同研究施設等およびその研究代表者

神戸大学国際文化科学研究科 准教授 北田 亮

福井大学 特別研究員、早稲田大学高等研究所 講師 岡本悠子

【本学における研究責任者】

福井大学医学部附属病院 神経科精神科 教授 小坂浩隆

【本研究に関する問い合わせ窓口など】

○問い合わせ窓口

本学における研究責任者

福井大学 医学部医学部附属病院 神経科精神科 教授 小坂浩隆

住 所: 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

電 話: 0776-61-3111(内線 2321)

FAX: 0776-61-8363

メールアドレス: hirotaka@u-fukui.ac.jp

○ご意見・苦情窓口

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院医学研究支援センター

電話: 0776-61-8529

受付時間: 平日 8:30~17:15(年末年始、祝・祭日除く)